



# 冬季オリンピック カウントダウンレポート⑦

## 2018年平昌冬季オリンピック記念 大鐘・鐘つき堂の建設現場に行く！

平昌郡は、今年5月より平昌郡庁内の「平昌冬季オリンピック広報館」の隣に2018年平昌冬季オリンピック記念の大鐘と鐘つき堂の建設工事を進めており、11月中には完成する予定です。

鐘つき堂建設には2018年の冬季オリンピック開催の成功と冬季オリンピックが平昌郡で開催された証という思いが込められており、大会後もオリンピックの文化遺産として残し、平昌郡の観光資源化と人々が団結しひとつになるために建設されました。

総工費は17億6千万ウォン(約1億7千6百万円)で、大鐘の重量は約7.5t、鐘の高さは2.8m、直径は1.6mで、鐘つき堂の面積は18.2坪で屋根は八角形となっています。また、今回の鐘つき堂を建設するために必要な費用の一部には、2017年3月31日まで平昌郡の人々が募金運動を行い集まった2億6千6百万ウォン(約2千6百万円)が使われています。

皆さんが平昌郡を訪れた際は、是非オリンピック広報館の見学とあわせてこの鐘つき堂で記念に鐘をついてください。

元若桜町交流職員 イミジン 李美眞



▲起工式の様子



▲沈在國郡守